



「調べる学習コンクール」って どんなコンクール？



図書館を使った調べる学習コンクール 開催概要

目的 図書館利用の促進と調べる学習の普及

主催 公益財団法人図書館振興財団

各賞 作品 文部科学大臣賞

観光庁長官賞、「国連生物多様性の10年日本委員会」賞、
優秀賞、優良賞、奨励賞、佳作

地域コンクール 総務大臣賞、図書館を使った調べる学習活動賞

観光庁長官賞、「2030生物多様性枠組実現日本会議」賞、
優秀賞、優良賞、奨励賞、佳作

部門 調べる学習部門 小学生の部/中学生の部/高校生の部

大人の部（大学生・一般）/子どもと大人の部

調べる学習指導・支援部門

表彰式にご招待



全国コンクールでの受賞者は2月に東京で行われる表彰式にご招待いたします。 ※2021年度はオンライン表彰式を開催いたしました。

受賞者には副賞を進呈



入賞、優良賞、奨励賞には副賞として図書カードを進呈いたします。
写真は入賞者に贈られる表彰楯



応募者全員に参加賞を
進呈いたします

※日程や副賞、参加賞等は、変更する場合がございます。

募集する作品

テーマは自由です。なんでだろう、ふしぎだなと思った身近な疑問や興味があることについて、図書館の本などで、調べてまとめた作品を募集します。

(応募者本人が作成し未発表のもの)

募集部門

- ・小学生の部（低学年/中学年/高学年）
- ・中学生の部
- ・高校生の部
- ・大人の部（大学生/一般）
- ・子どもと大人の部（親子での参加もできます）



作品形態

- ◆小学生：B4サイズまたは八つ切りサイズまで
- ◆中学生以上：A4サイズまで
- ・模造紙・画用紙での提出も可ですが、上記サイズに折りたたんでの応募となります。
- ・写真などを貼る際には、折りたためるよう配置に注意してください。
- ・冊子にする場合、ページ数は1ページ以上50ページ以内です。
目次・参考文献一覧のページは含みません。

応募期間

2026年8月25日(火)～2026年9月25日(金)



提出場所・応募方法

- ・ **大宮図書館 2Fカウンターに提出してください。**
- ・ 作品に不備がないか確認していただき、応募用紙に必要事項を記入し作品の裏に貼って提出してください。
(確認事項があった場合、後日連絡させていただく場合があります)
- ・ 最新情報・詳細は[図書館振興財団ホームページ](#)をご確認ください。

図書館振興財団
ホームページ



応募するときに注意すること

- ・ 冊子の場合は、表紙と目次もつけてください。
- ・ 画用紙や模造紙の場合は、裏面に貼ってください。
- ・ 参考文献（調べるときに使った情報や資料）はリストにして必ずつけてください。





図書館を使った 調べる学習コンクール®

過去の受賞作品

出典：図書館振興財団ホームページ <https://www.toshokan.or.jp/>

よってらっしゃい!見てらっしゃい!
見えないほねのふしぎな力!
人間と犬のホネ大研究



2014年(第18回)
文部科学大臣賞
小学生の部(中学年)

おでこを30針も縫う大けがをした自身の経験から、人間の体にはどんなホネがあり、どのくらいの数があるのか、興味を持ちました。飼い犬のチワワ・ゆめのホネとも比較しながら、大事な器官を守ってくれるホネの仕組みについて学習しています。

めざせ!自然体な人間関係
～自信をもって生きる～



2016年(第20回)
文部科学大臣賞
中学生の部

小学校高学年の頃から、クラス内にグループが生まれ、友人の悪口が耳に入るようになりました。なぜ悪口を言うのか、疑問を抱えて中学校に進んだ臼井さんは、アンケートや資料から、中学生のグループの実態について調査をすすめ、思春期における望ましい人間関係について考察しました。

かもつれっ車のたび
どこからきて、どこへいくの?



2017年(第21回)
文部科学大臣賞
小学生の部

近所にある線路、実は電車が走っていないのでは!と疑問を抱いた荻原さんは、「謎の線路」の正体を調べ始めます。線路をたどりながら次々と生まれる疑問を解いて、それが貨物列車の線路だと突き止めます。貨物列車の歴史や役割、物流の仕組み、地球環境への取り組みにまで迫ります。

桃太郎は盗人なのか?
—「桃太郎」から考える鬼の正体—



2018年(第22回)
文部科学大臣賞
小学生の部(高学年)

桃太郎盗人説の真偽を確かめるべく、全国の桃太郎を読み比べ。すると、桃太郎の話が時代によって異なることを発見。どのように物語が変化していったのか、江戸時代の文献にまでさかのぼり、各時代の桃太郎像をあぶり出します。さらに「鬼」の正体を探るべく、各地を訪ね歩き、自分なりの答えを導き出します。

プラスチックザメはぼくがつる!!



2018年(第22回) 小学生の部(底学年)
「国連生物多様性の10年日本委員会」賞

釣り好きな小茶さんは海に行くたびに、捨てられたゴミが気になります。「きれいな海でいてほしい」そんな願いから海辺を歩いてゴミを集め、種類や出所、海洋生物に与える影響を調査。また海のゴミの脅威を空想上の生き物「プラスチックザメ」に例え、物語仕立てで環境問題を訴えます。

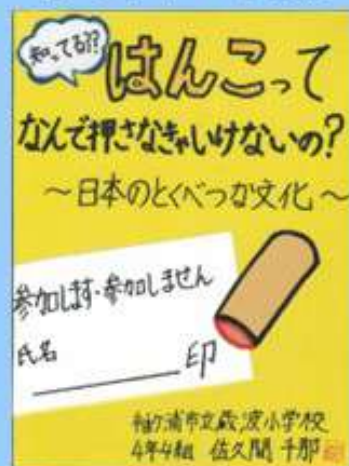
むか～しむかしの動物たち



2020年(第24回) 小学生の部(中学年)
文部科学大臣賞

昔話51冊を読み比べ、登場回数の多い動物がいること、身近なのにまったく登場しない動物がいることを発見。その登場回数が人間の生活様式と深い関係にあることを突き止めます。動物の描かれ方を整理し、内容にも法則があることを知ります。昔話づくりにも挑み、昔話に込められた大切な心を学びました。

知ってる??はんこってなんで
押さなきゃいけないの?
—日本のとくべつな文化—



2019年(第23回)
文部科学大臣賞
小学生の部(中学年)

はんこがないとプールに入れない！
はんこってそんなに大事？芽生えた疑問から、はんことは何かを調べます。職人さん取材し、はんこ作りを通してはんこの重要性を体感。デジタル時代にはんこは生き残れる？世界でも珍しい「はんこ文化」のメリットやデメリットを示しながら、はんこの未来を考えます。

まるごと味噌
—旨味、伝統の味、味噌にあり—



2020年(第24回)
観光庁長官賞
中学生の部

食生活による免疫力向上に関心を抱き、味噌に秘められたパワーを調査。その栄養価や免疫力との関係を調べ、日本人が味噌と歩んできた歴史を学びます。最高の味噌料理を求め、漬物や味噌汁作りに挑戦。5か月かけて自作の味噌も完成させ、和食文化を支える味噌を未来へ受け継ぐことの大切さを伝えます。

マイマイガには口が無い？
—生態を知り 大発生に向き合う—



2020年(第24回)
文部科学大臣賞
小学生の部(高学年)

マイマイガの大量発生をきっかけに家族総出ではじまった卵の駆除。そこから作者のマイマイガ研究が広がります。成長過程で消えてしまう毒の謎、決して死滅しない卵の謎、調べるほどに深まる産卵場所の謎。小さな命の神秘と生命力に驚き、駆除の想いはいつしか愛情へと変化、共生の道を模索し始めます。

セミのうたはすごいぞ!!
—いのちをつなげるひみつ—



2020年(第24回)
文部科学大臣賞
小学生の部(低学年)

鳴くセミと鳴かないセミがいることに気がついた作者。違いを調べ始めると、たくさんの発見が。種類で異なる鳴き声を音符で表したり、鳴く時間帯の違いを時計で表してみたり。死んだセミをもう一度鳴かせる方法があると知り、解剖にも挑戦。セミの生と死を見つめ、鳴き声は命をつなげる歌だと知ります。

何を調べるかは、自分で自由に決めることができます。
過去の作品を参考にして、自分が好きなことを調べてみましょう！